

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実

指標 1	【項目】 大規模改造工事進捗率			【説明】 市立小・中学校の大規模改造工事の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	68.6	69.0	69.9				100
担当課評価								
【担当課】 教育財務課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は概ね順調です。 ・令和2年度、3年度については、コロナ禍により、工事期間中、換気対策が十分に行えないなどの問題から、一部の工事を取り止めました。 ・令和4年度以降は、各校にサーキュレーターを購入するなどの、換気対策を講じたうえで、計画している工事を実施し、目標達成に向けて取り組んでいきます。 								
指標 2	【項目】 トイレ改修工事進捗率			【説明】 市立小・中学校のトイレ改修工事の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	32.5	35.0	38.0				50.0
担当課評価								
【担当課】 教育財務課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は概ね順調です。 ・令和2年度、3年度については、コロナ禍により、工事期間中、換気対策が十分に行えないなどの問題から、一部の工事を取り止めました。 ・令和4年度で全ての学校における1系統目の工事が完了する見込みであり、その後は2系統目のトイレ改修工事を計画しています。 								
指標 3	【項目】 小学校における学校図書館図書標準達成率			【説明】 各市立小学校における学校図書館図書標準の平均の達成率				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	92.5	93.8	93.4				100
担当課評価								
【担当課】 教育指導課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・各学校における計画的な図書購入により、令和2年度より学校図書館図書標準達成率が上昇しています。 ・令和4年度小・中学生読書推進事業に、市立図書館から学校への図書貸出を位置付け、学校図書館の図書の補完に努めます。 								
指標 4	【項目】 給食がおいしいと感じている児童生徒の割合			【説明】 市立小学校6年生及び市立中学校3年生のうち、給食がおいしいと感じている児童生徒の割合				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	—	—	84.2				100
担当課評価								
【担当課】 学校給食課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・令和3年度3学期に小学校6年生・中学校3年生の約800人を対象としたアンケートを実施した結果、約8割以上がおいしかったと回答しています。 ・今後も、新たな給食献立の検討や、児童生徒等から意見聴取などを行い、魅力あるおいしい給食の提供に努めます。 								

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実

指標5	【項目】 放課後児童支援員の資格を有する職員の割合			【説明】 市立学童保育室で、放課後児童支援員の資格を有している職員の割合				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	%	68.7	78.2	80.3				90.0
担当課評価								
【担当課】 教育財務課	<ul style="list-style-type: none"> ・進ちよくは順調です。 ・放課後児童支援員の基礎資格を有している者が速やかに認定資格研修の受講ができるよう、計画的に受講枠を確保し、有資格者数の割合を増やすことができました。 ・今後も、目標の達成に向け、計画的に取り組めます。 							

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実		総合評価 A
総合評価について	<p>図書室の充実や放課後児童支援員の資格取得など、全体的には順調に進んでいます。コロナ禍で工事の実施は困難でしたが、今後も児童生徒の学びを支えるため、学校をはじめとした教育環境の整備・充実に向けて、取組を進めます。</p>	

学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改造工事の進捗については、コロナ禍によるものと思われるが、アスベストに係る工事は重要な工事であるため、なるべく早めに進めていただきたい。 ・学校図書館図書標準値のように環境整備が進捗しても、子ども達の読書活動は進んでいない現状がある。環境整備は進んでいても、子ども達の教育活動には反映されていない現状があるわけだが、環境整備が進めば、すぐに子ども達の教育活動が進捗するかというのも難しいものである。中長期的な視点に立って、環境整備については教育活動において結果が出ていなくても、しっかりと進めていく、教育活動については環境整備のバックアップを意識して、しっかりと推進していく、このような意識を持って進めていただきたい。 ・読書活動について、環境を整えることは重要であるが、最近の子ども達は本を読まない傾向が強いため、難しい問題である。手の届く所に本を置いてあげないと、結局読まないという現状がある。
----------	---

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実
 【施策の柱】 (1)学校施設の整備・充実

細 施 策	①小・中学校施設大規模改造工事の推進	担当課	関連指標
		教育財務課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に外壁改修や屋上防水の大規模改造工事を推進します。 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に便器の洋式化や配管改修などのトイレ改修を推進します。 <p style="text-align: right;">その他の関連指標:指標2</p>		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事を実施 小学校2校 トイレ改修を実施 小学校1校、中学校4校 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事については、アスベスト対策などにより、工事費の増加や工期が長期化しています。また、学校からは2系統目以降のトイレ改修を望む声が多くあがっています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 工期が長期化することによる学校運営上の影響や、工事費削減が課題となっています。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事及びトイレ改修ともに、国庫補助を活用した財源の確保に努めるほか、工期の長期化による学校運営への影響を最小限に抑えるため、早期に学校との綿密な打合せを実施します。 		

細 施 策	②小・中学校重要設備の更新	担当課	関連指標	
		教育財務課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に耐用年数を経過した受変電設備等の重要設備を更新します。 			
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 受変電設備改修工事を実施 小学校1校、中学校1校 受水槽設備改修工事を実施 小学校1校、中学校1校 			
成果実績	項目名(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	受変電設備(校数)	受変電 1校	受変電 0校	受変電 2校
	受水槽設備(校数)	受水槽 0校	受水槽 0校	受水槽 2校
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的な資材不足や物流の混乱により、半導体や高圧ケーブル等の資材調達不安定な状態となっています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定的な資材調達が課題となっています。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 資材調達の情報に注視するとともに、電気関連の資材が安定供給されるまでは、受水槽改修工事を先行することや工期を2箇年に設定するなどの対応を検討します。 			

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (1)学校施設の整備・充実

細 施 策	③小・中学校空調設備設置の推進			担当課	関連指標
				教育財務課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室への空調設備の導入を推進します。また、屋内運動場への空調設備については、防災上の観点を含め様々な導入手法について検討します。 				
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 特になし（令和4年度からの事業） 				
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特別教室空調設備設置校数	-	-	-	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別教室に空調設備が十分に設置されていないため、学校運営上の影響が出ています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事の財源確保と、教育環境の格差を生じさせないように、計画的な設置が課題となっています。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助を活用し、財源の確保に努めます。また、屋内運動場への空調設備の設置については、他市の動向なども注視のうえ、防災部局とも情報共有し、調査研究を進めていきます。 				

細 施 策	④学校図書館の充実			担当課	関連指標
				中央図書館・教育指導課	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の読書活動を推進するため、蔵書数を含めた魅力ある学校図書館の充実を図ります。 児童生徒の調べ学習及び読書活動推進等に向け、市立図書館から学校への図書貸出を推進します。 				
令和3年度の主な実績	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館から学校へ図書の団体貸出 小学校4,338冊、中学校150冊、高校230冊 学級訪問 小学校28校(84学級) 小学3年生2,705人、図書の貸出2,997冊 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書標準 小学校 93.4%（前年度比0.4ポイント減） 学校図書館図書標準 中学校 106.5%（前年度比2.5ポイント減） 学校司書研修会の実施（年2回） 				
現状・課題	<p>現状</p> <p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への図書の貸出は、まだ回復していません。 学級訪問は、小学3年生を対象とし28校実施しました。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校司書研修会を行うことで学校図書館の充実を図っています。 中学校においては、学校図書の計画的購入・廃棄により学校図書館図書標準を上回っています。 <p>課題</p> <p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書活動を推進するため、さらに小学校の学級訪問回数と団体貸出の利用を増やす必要があります。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校においては、学校図書館図書標準を下回っています。 市立図書館から学校への図書貸出を推進することが必要です。 				
課題解決のための取組	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級訪問の予定がない小学校に学級訪問の実施について、他学年も含め、さらに働きかけます。 団体貸出は、学校への利用の働きかけとともに、学習指導要領に基づくカリキュラムに対応できる図書の購入に努めます。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度小・中学生読書推進事業に、市立図書館から学校への図書貸出を位置付け、学校図書館の図書の補完に努めます。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実
 【施策の柱】 (2)小・中学校の適正規模・適正配置

細 施 策	①小・中学校の適正規模・適正配置等の検討	担当課	関連指標	
		学校管理課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが社会で自立できる力を身に付けることを目標に、切磋琢磨して成長できる川越市立小・中学校の在り方を検討し、新たな教育環境を整えます。 川越市立小・中学校の適正規模・適正配置について、保護者や地域住民等の意向を把握した上で、児童生徒数の推移、及び、小学校での35人以下学級編制に基づく各学校における学級数を踏まえて基本となる方針を策定します。 策定した基本方針を基に、学校の分離・新設や統廃合等の可能性について、地域社会の意見等を踏まえて協議します。 			
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会 4回（8月、10月、11月、2月） 川越市立小・中学校の在り方に関する検討委員会設置要綱の一部を改正（11月） 新たな委員の加入（社会資本マネジメント課長、管財課長、都市計画課長）及び検討課題を調査研究する検討部会を設置 			
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	検討委員会の実施回数（回）	2	2	4
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では35人の少人数学級編制を令和7年度まで順次進めることになっています。また、特別支援学級の新增設や特別教室の活用等により余剰教室の効果的活用が進む一方で、空き教室となっている学校もあります。統合が喫緊の課題となっている地区もあります。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の統合の議論は、中・長期的な見通しをもって、地域の実情や人口動態、施設維持のコスト、教育的効果、防災、市全体の施設計画など、複合的な課題があります。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 10～30年後を見据えて、本庁及び各市民センター管内の地区ごとに調査・研究を進め、関係課との検討に取り組みます。 			

【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	①給食内容の充実	担当課	関連指標
		学校給食課	指標4
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、栄養のバランスが取れた給食を提供します。 学校給食で使用する食材の安全確保に努めます。 地場産業の積極的な使用に努めます。 食物アレルギー対応食について、安全で確実な実施体制を保持し、内容の拡充を図ります。 		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の提供 190回 学校給食食材（青果）に占める地場産農作物の割合 24.0% アレルギー対応食の提供 児童80人、生徒7人（R3.5.1時点） 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、急な学級閉鎖や学校行事の中止等が実施されました。 学校行事が中止になったことで給食食材の使用量が増加しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 原油高、物価高に伴う給食食材の高騰が懸念されますが、給食には栄養価を踏まえた質と量の確保が必要です。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 給食献立の工夫などを行い、栄養価を踏まえた質と量が確保されたおいしい給食の提供に努めます。 児童生徒の地元愛を育み、地場産食材への興味が深まるよう、引き続き、地場産農作物や旬の食材を多く使用した給食の提供に努めます。 		

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	②学校給食施設の整備			担当課	関連指標
				学校給食課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修と設備の修繕等を計画的に推進していきます。 今成学校給食センターは、運営の手法も含め、計画的な建替え等を検討していきます。 				
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の修繕等の件数 106件(菅間90件、今成16件) 「川越市立学校給食センター施設に係る関係課検討会議」を設置 				
成果実績	項目名(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	施設や設備の修繕等の件数(件)	73	113	106	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的な保守点検を行い、計画通り、学校給食の提供を行っています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的に学校給食を提供するため、施設や設備の状況を的確に把握する必要があります。 施設や設備の老朽化や、今後の児童生徒数の推移、市の財政状況等を踏まえ、3つの学校給食センターを俯瞰した視点から、今後の方向性を検討し、計画的な施設整備を行う必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全安心な学校給食の提供を行います。 関係課会議にて、3つの学校給食センターの今後の方向性について検討を行います。その際、現状把握と今後の改修費用などの検討を行います。 				

【施策の柱】 (4)子どもたちの安全・安心の確保

細 施 策	①安全教育の推進			担当課	関連指標
				教育指導課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒、地域の実態に応じた安全教育を保護者・関係機関と連携し推進します。 児童生徒の安全確保のため通学路安全点検の実施、スクールガード・リーダーの配置等、地域及び関係機関等と連携・協働し、安全・安心の取組を推進します。 各学校で児童生徒を対象に、不審者に遭遇した場合の対応等、実践的な防犯教室を実施し、防犯意識の育成を図ります。 児童生徒を対象とした交通安全教室を関係機関と連携し推進します。 				
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> スクール・ガードリーダー年間活動平均回数 256回 児童生徒の登下校の見守りのために青色回転パトロールカーによる巡回 53回 各学校からの通学路改善要望をとりまとめ、防犯・交通安全課に対応を依頼 54件 通学路安全点検による対策箇所数 176箇所 交通安全教育や防犯教育の実施 54校(市立小中学校全校) 				
成果実績	項目名(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	スクールガード・リーダーの平均年間活動回数(回)	174	227	256	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育や防犯教育を実施し、安全教育の推進が図れています。 関係課と連携を図り、通学路の整備がすすめられています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールガード・リーダーの高齢化に伴い、なり手不足が発生しています。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の交通事故が発生しないように、交通安全指導を継続的に行います。 各学校で、実践的な交通安全教室、防犯教室を実施していきます。 スクールガード・リーダーの配置のために、コミュニティ・スクールや地域人材を活用し、継続した見守り体制を構築していきます。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実
 【施策の柱】 (4)子どもたちの安全・安心の確保

細 施 策	②防災教育の推進				担当課	関連指標
					教育指導課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地震や火災等を想定した避難訓練を各学校の年間指導計画に位置付け、児童生徒の防災意識を高め、発達段階に応じて自ら危険を回避する能力の育成を図ります。 各学校において、防災マニュアルを検証し改善するとともに、それらを的確に活用できるよう教職員の安全意識及び災害対応能力の向上を図り、日頃から児童生徒の命を守る防災体制の強化を図ります。 各学校の地域実態等を踏まえた、避難所運営・設営に係るマニュアルを作成し、地域と連携した災害対応体制の構築を推進します。 					
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の防災意識を高めるための避難訓練の実施 56校（市立学校全校） 地域全体での安全教育に関わる実践 5校（霞ヶ関地区小中学校） 地震や火災等を想定した避難訓練の実施による防災マニュアルの改善 56校（市立学校全校） 					
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	防災マニュアルの改善実施校	—	—	56		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での安全教育を実践している校区において、地域全体での安全体制の構築が図れています。 避難訓練等の実施が、児童生徒の防災意識を高めることにつながっています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での安全教育に関わる実践事例を、全市立学校に周知する必要があります。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 研修会等で、地域全体での安全教育に関わる実践事例を周知し、児童生徒の防災意識のさらなる向上を図ります。 					

細 施 策	③学童保育の充実				担当課	関連指標
					教育財務課	指標5
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 就労等により保護者が常時留守になっている児童の放課後等の安全・安心を確保し、健全な育成を図ります。 放課後児童支援員及び補助員の確保及び質の向上を図ります。 学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。 民間放課後児童クラブを所管する関係課と連携し、多様化する保育ニーズに対応するための保育手法や負担の在り方について検討します。 					
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の学童保育室利用児童数 3,138名（全児童に占める割合：約18%、待機児童：0名） 狭あい化対応 拡張1室、増室3室 トイレ改修工事 2室 正規職員採用数 3名 放課後児童支援員認定資格研修の受講者数 12名 					
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童を出さずに対応できているという面では、おおむね順調に進捗していますが、入室児童数が年々増加しています。 約3分の2の施設が建築から20年以上経過しています。また、35人学級の実施や特別支援学級の増に伴い転用可能な教室が減少しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育スペース及び放課後児童支援員等の確保について課題があります。 老朽化が著しい施設の改修等を行い保育環境を改善する必要があります。 放課後児童支援員等の質及び意識の更なる向上が必要です。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 狭あい化した学童保育室について川越市総合計画実施計画に位置付け、余裕教室の転用等を行っていきます。 放課後児童支援員等の募集方法等を工夫し、その確保に努めるとともに、研修等により、質及び意識の向上に努めます。 民間放課後児童クラブの所管課（こども育成課）と情報交換を密に行い、連携を図ります。 					

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実
 【施策の柱】 (5)教育センターの充実

細 施 策	①教育センター施設の整備・開放の充実	担当課		関連指標
		教育センター		—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター、教育センター第一分室、教育センター第二分室の老朽化した部分等の緊急性や必要性を検討し、施設の改修と設備の修繕等を計画的に実施します。 ・教育センターは、教職員研修の施設として対面型・オンライン型の研修内容が充実するように、また地域に開かれた施設として利用しやすいように整備運営に努めます。 			
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター3階エアコン修繕 ・対面・集合型研修の数 124回 オンライン研修（同時双方向型・オンデマンド型）の数 73回 ・地域の方への施設開放利用者数 1階 8,211人 体育館及びグラウンド 18,334人 			
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	地域の方への施設開放利用者数（人）	30,040	21,677	26,545
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター施設内のトイレの修繕など、修繕の必要な箇所が増えています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中にオンライン研修を一斉に実施するとなると、移動用APが3台のみのため、近隣の小学校に借用する必要があります。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・第一分室1階及び2階のエアコン改修工事を行います。 ・トイレの改修工事を、計画的に進めます。 ・オンライン研修を行うための、LAN環境の整備を進めます。 			

細 施 策	②教職員・保護者・地域との連携研修の充実	担当課		関連指標
		教育センター		—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒への対応や情報モラルの育成などの今日的な教育課題解決のために、学校や家庭・地域と連携した研修の充実を図ります。 			
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者と共に考える情報モラル研修会」回数 1回、参加人数 市立学校教職員56名、保護者58名 			
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	保護者と共に考える情報モラル研修会参加者数（名）	118	82	114
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症不安により、保護者が不参加の学校が複数校ありました。 ・対面・集合型の研修において、教職員と保護者が協議し、問題意識や解決方法を共有しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者が連携し、課題解決に向けて取り組むことが必要です。 ・ネットいじめは増加傾向にあり、日々変化するインターネット環境に応じた情報モラル教育やネットトラブル・ネットいじめの未然防止教育の推進が必要です。 ・研修における協議時間が短いという意見もあり、研修会のさらなる充実が必要です。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・保護者の連携を重点とし、協議時間を増やすことで問題意識や解決方法の十分な共有を図ります。 ・学校と家庭の連携を深め、子どもたちが安心してインターネットを利用できる環境づくりを進めます。 			